

2023 年度 事業報告

自:2023 年 4 月 1 日 至:2024 年 3 月 31 日

I. 事業方針

昨年 6 月の総会において確認した以下の事業方針に沿って、「アイスクリームでみんな笑顔に」を合言葉に、2023 年度の事業を推進した。

- (1) アイスクリームの衛生、品質の向上を最重要課題として取り組む。さらに、公正取引協議会と協働して表示の適正化を推進する。
- (2) アイスクリームのおいしさ・楽しさを広く一般に PR し、需要の拡大を図る。併せて、品質や安全にかかわる情報を適宜提供し、お客様の安全、安心に応える。
- (3) 持続可能な環境保全型社会に貢献できるよう、環境に関する諸課題の情報を入手するとともに必要な情報を会員に提供する。
- (4) 法令改正や社会環境の変化等に対応し、関係機関・団体と連携して会員企業に迅速に情報を提供する。

II. 事業ごとの内容

今年度のアイスクリームフェスタは 5 月 9 日を中心に、全国 6 会場でサンプリングイベントを行った。

全般的にはコロナ前と同等の各種会議やセミナーを開催することが出来た。

1. 衛生及び品質の向上について

1-1. 食品衛生、品質管理技術の向上について

(1) 検査技術研修会の実施

- ① アイスクリームの成分、微生物に関する検査法を習得する「アイスクリーム検査技術研修会」を開催(12 月、2 月)、会員の製品検査技術の向上を図り、受講者の検査技術習得と品質意識の向上となることを目指した。



(2023 年 12 月 11~13 日 7 名参加、2024 年 2 月 26~28 日 5 名参加)

- ② 関連団体等の研修会を案内して、会員企業の衛生品質の向上を側面支援した。

(2) 地区協会活動との連携

地区協会の施設見学会に参画して、食品行政の進捗状況や他社の衛生品質レベルの学びの場を共有した。また、商品の品質確認、自主検査の精度を確認すべく、製品の細菌自主検査を実施した。



【関東協会見学研修会】

(3) 衛生功労者の表彰

2023年12月7日の選考委員会において、各地区から推薦された衛生功労者候補者24名の承認を受けた。表彰式及び祝賀会は厚生労働省食品監視安全課 森田課長、一般社団法人日本乳業協会 沼田専務理事を来賓として、日本アイスクリーム産業振興会会員も招き開催した。



【2023年度衛生功労者表彰式記念写真】

1-2. 表示の適正化推進について

- (1) 電子メール、電話等による問い合わせに対応し、表示に関する正しい情報を提供した。
- (2) 地区協会及び公正取引協議会共催による表示自主検査会及び表示技術セミナーを開催し、表示の適正化に努めた。本年もオンラインによるセミナーを併用して行った。
 - ① 表示自主検査会：東北・関東(対面)、東海(対面)、近畿(対面)、九州(対面)
 - ② 表示技術セミナー：北海道(対面)、東北・関東(web)、中四国(web)(詳細は常任委員会でご報告)

2. 消費拡大、PRについて

(1) アイスクリームフェスタの開催

「5月9日アイスクリームの日」を中心に、全国6か所でアイスクリームのサンプリングを行った。

新型コロナウイルス感染症対応が2類から5類へ移行した直後ということもあり、各地ともTV局の取材が多く入り、当日夕方のワイドショーなどで数多く取り上げられた。

今年はエアー抽選機を用いて、配布および喫食時の滞留調節と賑わい演出の両立を行った。



日程	エリア	イベント会場
5月6日(土)	九州	福岡市:福岡三越ライオン広場
5月8日(月)	北海道	札幌市:地下歩行空間北3条交差点広場
5月9日(火)	関東	渋谷区:新宿タカシマヤ1階特設会場
	東海	名古屋市:JR名古屋ゲートタワー1F
	近畿	吹田市:ららぽーとエキスポシティ 光の広場
	中四国	広島市:広島駅南口地下広場

➤ 各地区とも配布個数は約 1,000 個

(2) 「アイスクリームの日」関連施策

職場にアイスクリームを届けるキャンペーンは昨年も好評であったことから、タイトルを「あなたの職場にアイスクリームでエールを届けるプロジェクト」と題し、フェスタ会場以外の自治体にある事業所の当選を増やすなどの調整を行い、実施した。(応募総数 3,712 件) また、相乗効果を狙った Twitter キャンペーンとして「頑張るあなたに、アイスクリームでエールを！フォロー&引用 RT キャンペーン」を実施し、キャンペーン参加件数「27,678」、新規獲得フォロワー数は「6,171」あり、キャンペーン終了時点のフォロワー数は「162,371」と拡大することが出来た。



(3) ウェブコミュニケーションの活用

① 協会 SNS にて、アイスクリームに関連した様々な情報を発信・拡散することにより、アイスクリームファンの獲得に努めた。

② WEB キャンペーン

i) X(Twitter キャンペーン)

5月9日の「アイスクリームの日」にちなんで「みんなのイチオシフレーバー大募集！キャンペーン」、恒例となった「写真投稿キャンペーン」、年末年始にかけて実施した「インスタント ウィン+W チャンスキャンペーン」の年3回の企画を実施した。



<協会アカウントのツイート例>

ii) アイスな瞬間の写真投稿キャンペーン

- 8月21日～10月22日までの2か月間で、応募件数 3,993 件
- 部門賞名称を変更したことにより、フリースタイル部門が大幅に続伸したが、友人や仲間に応募してもらったグループ部門は、依然コロナの影響からか低調が続いた



【最優秀賞と部門賞】



この他に各部門の入賞作が 50 点あり、いずれも明るく楽しく、ほのぼのとした写真ばかりだった。

iii) 「1年頑張ったあなたに大チャンス！アイスクリーム王子の運試しスロットキャンペーン」

- 12月21日～1月9日まで協会のTwitter アカウントをフォローしリツイートするだけで「当たり」「ハズレ」がわかるキャンペーン
- さらに「#こんなアイスがあったら」のハッシュタグをつけて自由な発想で「新しいアイス案」を投稿してもらい、抽選で 50 名様に 15 種類のアイスの詰合せをプレゼント

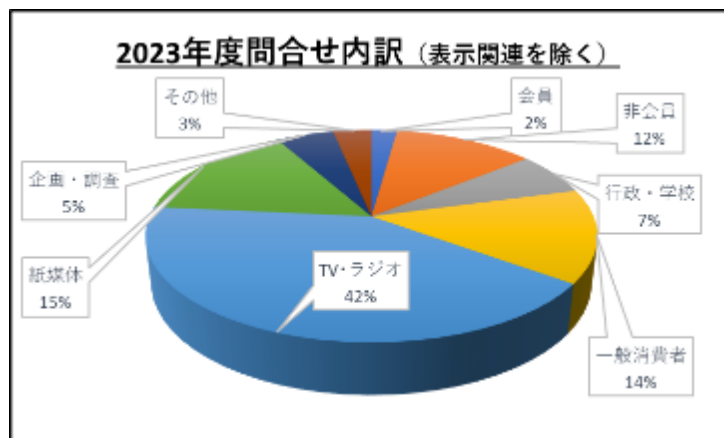


キャンペーン参加件数	フォロワー獲得数	キャンペーン終了時 フォロワー数
359,505	18,034	179,934

3. 知識の普及・PR について

(1) お客様、マスコミなどからの問い合わせ、取材への対応

電話、メールによる問い合わせやマスコミの取材に対応し、アイスクリームのPRに努めた。2023年度の問い合わせは183件(前年同期比150.0%)で内訳は以下の通り。



明るい話題が求められたのか、「アイスクリームの日」に関連する問合せが多く、特にフェスタの取材申入れが圧倒的に増えた。また、インバウンド増加に伴う外国人旅行客の復調と、アイスクリーム類の輸出額増との関連性を求める問合せが多かった。

(2) アイスクリームニュース(機関紙)の発行

No277~280号の3回発行し、会員への協会活動内容の報告と必要な情報提供に努めた。

(3) 統計資料の作成

① 2022年度の「アイスクリーム類及び氷菓販売実績」を作成し、ホームページ、アイスクリームニュース等に掲載して、情報の共有化を行った。

- 2022年度のアイスクリーム類販売金額は5,534億円(メーカー出荷ベース)で3年連続の過去最高。6年連続で5,000億円越え。

② アイスクリーム白書2023

今年度も例年通りアイスクリーム白書の発行を目的に調査を実施した。スイーツ・デザート的好意度では今年度もアイスクリームが「好きなデザート」の第一位となり、調査開始以来の不動の一位を続けている。

原材料高や円安の影響からの価格改定に関しては、他のスイーツ類に比べると比較的パフォーマンスを維持していると思われるが、年代や性別によって感じ方に差が見られた。

また、購入場所については、いわゆるお取り寄せやネットスーパーなどインターネット経由での購入機会の増加が顕著となっている。

- 好きなフレーバーは夏冬問わずバニラ
- 猛暑効果もあり、4割が前年より喫食増

③ 家計調査実績(2023年1~12月)

総務省家計調査データを活用して、1世帯当たりの月別支出金額、都道府県庁所在都市別1世帯当たり支出金額をとりまとめ、ホームページに掲載した。本年は4年連続で支出金額が1万円を超え、11,580円で過去最高額となった。

- 食料品支出の1%がアイスクリームへの支出金額
- 都市別支出金額で福島市が初めて首位獲得

④ 輸出入統計(2023年1~12月)

財務省の貿易統計を活用し、アイスクリーム類の輸出実績と輸入実績の推移をホームページに公開した。今年も輸出入ともに前年を超えた。(輸出:119.8%、輸入:103.1%)

- 輸入は為替の影響から物量と金額で乖離。(物量:103.1%、輸入:109.6%)
- 輸出国は台湾、香港、中国の3カ国で62.6%、輸入国はニュージーランドが66.0%

(4) 第49回アイスクリームセミナーの開催(10月13日、於:千代田区内幸町ホール)

今年度は参加制限を設けずに参加者を募った結果、コロナ禍前と同等の50社、約130名と盛況なセミナーとなり、以下2つの講演内容でセミナーを開催した。

- 「食品衛生をめぐる最近の動向について」
厚生労働省 健康・生活衛生局 食品監視安全課 輸出食品安全対策官 伊藤光洋氏
食品衛生法等の一部を改正する法律に関し、施行後の状況について具体的な例を挙げながら講演していただいた。
- 「Yakult1000、Y1000の開発について」
株式会社ヤクルト本社 研究開発本部付理事 兼 開発部担当部長 増田智之氏
人気テレビ番組で取上げられて注目を集めた、腸内環境をサポートすると共に、一時的なストレスの緩和と睡眠の質を向上させてくれる乳酸菌飲料の開発について紹介された。



【厚労省 伊藤様】



【会場の様子】



【ヤクルト 増田様】

4. 環境に関する取組みについて

- (1) 2022 年度自主行動計画実績(プラスチック製容器包装排出量&製品生産実績)をプラスチック容器包装リサイクル推進協議会に報告した(8月末)。
- (2) 今後ともプラ協のセミナーに参画して、環境問題に関連する情報入手と会員に必要な情報提供を継続していく。

5. 社会貢献活動について

例年同様、「5月9日アイスクリームの日」を中心に地区協会より社会福祉施設にアイスクリームの寄贈を行った。施設からの要請により、やむを得ず宅配便利用となったケースもあった。

【地区別配布施設数と配布個数】

	施設数	配布数量(個)	備考
北海道	54	3,964	札幌市近郊
東北	27	1,392	宮城県内
関東	46	11,838	東京都・神奈川県
東海	83	5,454	愛知県
近畿	25	4,052	大阪府
中四国	27	2,375	広島県・岡山県 鳥取県・香川県
九州	99	6,239	沖縄を除く全県
合計	361	35,314	

6. その他

(1) 総会、各種会議の開催

- ① 理事会及び理事懇談会(6月8日、11月27日、1月25日)
- ② 定時総会(6月8日)
- ③ 衛生功労者表彰選考委員会(12月7日)
- ④ 全国事務局長会議開催(7月8日、12月1日)
- ⑤ 消費拡大委員会(6月20日、10月19日、2月20日)